

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	13-4																																								
PDCA	主要事業名	第九回はんだ山車まつり開催事業	部課名	市民経済部観光課	担当 内線	濱田 328																																									
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 1 単位施策： 観光 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 105,000 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.04.02.60						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 5年に一度、市内の山車31輦が勢揃いする知多半島最大のイベント「はんだ山車まつり」を開催するため、山車組、市民、関係団体等で構成する第九回はんだ山車まつり実行委員会へ、山車運行、警備、会場整備、各種PR等、開催に係る費用の一部を補助する。																																													
		事業目的： 全国から観光客を誘客し、半田の山車文化をPRする。																																													
		事業内容： 第九回はんだ山車まつり開催費補助金の交付																																													
		問題点・課題等： ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底 ・物価の急激な高騰 ・まつりエリアにおけるイベント利用可能スペースの減少																																													
	予算額	主要事業とする理由																																													
	105,000 千円	はんだ山車まつりは、2日間で50万人以上が来場する知多半島最大のイベントであり、全国から来場する観光客に半田の山車文化や観光の魅力をPRする絶好の機会となるため。																																													
	財源内訳	得られる成果																																													
	市費 100,000 千円	半田市への観光客の誘客による市内経済の活性化とともに、半田の山車文化の全国への発信に伴うシビックプライドの醸成及び山車組関係者による山車文化の保存伝承活動の活性化を図ることができる。																																													
	国費 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第九回はんだ山車まつり来場者数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>550</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	第九回はんだ山車まつり来場者数	実績値	—	—	—	千人	目標値	—	—	550	千人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																									
	第九回はんだ山車まつり来場者数	実績値	—	—	—	千人																																									
		目標値	—	—	550	千人																																									
		実績値																																													
		目標値																																													
その他	実績値																																														
	目標値																																														
県費 千円																																															
その他 5,000 千円																																															
D 実績得られた成果と	決算額	得られた成果																																													
	129,879 千円	目標値である来場者数55万人の方に来場していただき、全国へ半田の山車文化を発信することで知名度向上につなげることができ、山車組関係者をはじめ市民のシビックプライド醸成を図ることができた。																																													
	財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第九回はんだ山車まつり来場者数</td> <td>実績値</td> <td>550</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>550</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	第九回はんだ山車まつり来場者数	実績値	550	千人	目標値	550	千人																													
	成果指標		令和5年度	単位																																											
	第九回はんだ山車まつり来場者数	実績値	550	千人																																											
		目標値	550	千人																																											
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 多くの観客に来ていただき、新たに創設した+HANDAエリアでは、半田の歴史や食文化をPRすることができた。また、提灯の絵付け体験を実施することで市民や子供たちに山車まつりに親しんでもらい、シビックプライドの醸成を図ることができた。課題としては、まつり会場周辺に観客の飲食や休憩場所となる大きなスペースがないことなどから、道路内や特定の場所に観客が密集することによって、観客の誘導が困難であった。次回開催時は、まつり会場内で観客を分散させる仕組み作りをするともに動線の確保などを行う必要がある。																																													
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	終了 令和5年事業完了により終了。																																													
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																									
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある																																										
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	※手段の変更 —																																										
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																													